



発行日 平成27年10月1日
発行 兵庫県朗読ボランティア連絡会
神戸市中央区神若通5丁目3番26号
(中山記念会館内 神戸ライトセンター)

第29回兵庫県朗読ボランティア連絡会交流会のご案内

日時: 2015年11月26日(木)
13:00~16:00 (12:30 開場)

場所: 兵庫県民会館 9階 「けんみんホール」

<プログラム>

第1部 朗読発表

グループ潮騒 (洲本市)
乙川 優三郎 作
『花の顔』

かしの実グループ (加西市)
高田 郁 作
『返信』

グループ紹介



第2部 公演 14時10分~

木津川 計 氏
菊池 寛 作
『父帰る』 (一人語り)

今秋の交流会にも多数のお申込をいただき、ありがとうございます。
皆様にお楽しみいただけますよう、只今準備を進めているところです。
ポシエツト131号と一緒にチケットもお届けします。
なお、当日券もございますので、ご利用ください。

交流会の詳細をご紹介します！

朗読発表

『花の顔』 乙川 優三郎 作 グループ潮騒

「さと、さとはおりませんか」と、義母・たきの声。「はい、ただいま」と、その声に答え続けて、かれこれ二十年。義父も身罷り、初七日の法要を終えた頃、たきの言動に首を傾げることが増えてくる。

そんな中、夫は江戸へ出府し、二人暮らしが始まると、たきの認知症はますます進み顔付までおかしくなる。そして、さとの心も病んでいく。

『返信』 高田 郁 著作 かしの実グループ

公認会計士となり順風満帆な人生を歩んでいた息子が不慮の事故で亡くなった。両親は彼を偲び、大学時代の旅の足跡をなぞる事にした。旅は彼が感銘を受けた映画のシーンを辿るものだった。

映画を繰り返し観て記憶に留めた風景を抱き駅に降り立ったが、そこに広がっていたのは映画とは全く違った近代的な風景であった。

公演 一人語り 木津川 計さん



『父帰る』 菊池 寛 作

なぜ父は帰ってこられたのか

妻と3人の子を捨て、父は情婦と出奔した。

それから20年。苦労を重ねた妻子の元へ老残の父が帰ってきた。

揺れる家族の思い、・・・親子の絆とは何か。

父帰れず・帰らずの現代から問いかける。

1968年に創刊された雑誌「上方芸能」発行人。NHKラジオ(関西エリア「木津川計のラジオエッセイ」)に毎週1回レギュラー出演して34年目、“木津川節”といわれる大阪弁のやわらかい一人語りをお楽しみください。

らくらく デイジー

もう12年にもなるでしょうか。初めて朗読の初級講座を受けた時のことです。先生が「これからはデイジーの時代です」と繰り返し話されました。「え、何でデイジー?」。たくさんのヒナギクの花とその周囲を飛び回る蝶々で私の頭は一杯になって、(私の脳内がお花畑?)。「DAISY だったのか」と理解出来たのは二回目の授業の時でした。

DAISY 作成のための講習も何度か受け、紆余曲折を経て「やらなくちゃ、だけど出来ない…」から思い切って挑戦したのが5年前。グループにパソコン(PC)の経験者はほぼ皆無。初歩のPC教室から始めなければなりません。マニュアルと睨めっこしながら、やっとの思いでテープからPCに取り込み、CDを作成することが出来ました。当初のDAISYのリスナーは僅かに一名。労力に成果が見合わない状態が長く続きました。現在は3名の方にCDをお送りしています。ちなみにテープは10本を作成。

DAISYの利点は数え切れなくらいにあります。リスナーの方に未だその良さが十分に認知されていないようで、社会福祉協議会や行政と協力し、DAISYを知って貰いニーズの拡大を図ることが、私たちのグループの当面の課題です。

昨年度に補助金を利用し、コンパクトCD/DVDコピー装置を購入しましたが出番が無く居心地が悪そう。彼(彼女?)がフルに活躍出来る日が一日も早く来ることを願っています。テープデッキがストライキを起こす間隔が短くなってきていますので……。

南あわじ市

グリーンポエム 阿部昌弘



アイライトフェア2015を開催します

～兵庫県内で初めて神戸市に常勤専任訪問指導員(歩行訓練士)を配置!～

- 日時 2015年10月11日(日) 13:00~16:30
場所 神戸市立葺合文化センター 大ホール(神戸市中央区旗塚通4-4-1)
参加費 無料
内容
- ☆ アイライトアンサンブルによるミニコンサート
 - ☆ 医療講演
演題 再生医療と視覚リハビリテーション 神戸アイセンター(仮称)計画
講師 先端医療センター病院 眼科医長 平見 恭彦 氏
 - ☆ 報告
「県内で初めて神戸市に常勤専任訪問指導員(歩行訓練士)配置」
神戸アイライト協会 理事長 森 一成 氏
 - ☆ パネルディスカッション
「神戸市における訪問指導の現況と課題」

問い合わせ先 : 神戸アイライト協会(KLC) 電話: 078-252-1912
(当日参加も大歓迎ですが、準備の都合上、可能な方にご連絡いただければ幸いです)



朗読劇 篠山市朗読ボランティア 山うぐいす

「夏雲は忘れない」は8月2日盛会のうちに無事終了いたしました。ご来場くださいました皆様に厚くお礼申し上げます。

戦後70年の節目の年に、自分たちのできることで、平和への思いを伝えることができ、感動しています。一人一人の力が大きな力となりました。来年は山うぐいすも35周年を迎えます。これからも自己研鑽し、リスナーの皆さんに喜んでいただけるように頑張っていきたいと思っております。



お知らせ

ポシェットがインターネットで見られます！



ポシェットが神戸ライトセンターのホームページに掲載されています。

カラーで掲載されていてとても読みやすいですよ！

神戸ライトセンターのホームページ (<http://www.klc.jp.org>) を開き、所属団体の項目から「兵庫県朗読ボランティア連絡会」をクリックしてご覧ください。

★☆☆

朗V連へのお問合せ、ご意見ご要望がございましたら、下記担当幹事までお知らせください。

ブロック	地区	氏名
A	東部・北部地区	内藤美保 (音訳V ともしび)
B	神戸・明石地区	森本八千代 (朗読の会 神戸草笛)
C	淡路地区	吉住ミチエ (グリーンポエム)
D	東播地区	丹羽雄子 (グループ千草)
E	西播地区	西保子 (朗読V.G 来夢)

『ポシェット』では各グループの活動などを紹介しています。どうぞ原稿をお寄せ下さい。その他、耳寄りな情報やご意見、ご希望なんでも結構です！

ポシェットの内容に関するご連絡、ご質問は、
携帯電話 080-5703-8543 (西保子) までご連絡ください。

編集後記

- ☆ このところ、火山の噴火や、地震、大雨など、頻繁におきています。いつ身近なところでおこるかかわりません。家族で避難場所や持ち出し袋の確認をしなければ・・・と思っています。(な)
- ☆ 過ぎたことの反省はしても悔やまず、未来の準備は整えても心配はせず、今を精一杯生きるだけ(ふ)